

Viewpoint

トナムでは網膜手術を満足に行える水準にはなく、又、より容易な角膜や水晶体手術でも、治療費が払えず失明する人は少なくない(多くの途上国に共通)。

「ベトナムの赤ひげ」と呼ばれている一人の日本人眼科医がいる。服部匡志医師である(筆者と縁続きではない)。この人を見てみると、人間が本来持っている「善」がむき出しに見える。欲も見栄もない、唯あるのは人間愛と自己犠牲。本欄で日頃扱っている世の中の様々な事象に関する意見ではないが、本日は人間の根源的部分、あるいは生き様について考えてみたい。

服部医師は1964年生まれ、4浪もして京都府立医科大学に入学し眼科医になったが、2001年京都での学会でまたまた出会った一人のベトナム人医師にベトナム人医師の教育、指導を請われた。服部医師は網膜硝子体(眼底)という、眼の中の最も難しい部位が専門だ。当時(今でも)ベ

ベトナムの赤ひげとの邂逅

元駐ベトナム大使 服部 則夫
特命全権大使



も機材は古くて使いものにならず、医薬品も無い。筆者は02年から駐ベトナム大使として、ハノイ

無償で働く邦人眼科医

温かく美しい生き様を示す

の地にあったが、03年のある日、日本のある新聞の人欄に彼が紹介された。すぐ、彼に電話をして話を伺いたいと食事に誘った。

筆者も日々、日越関係強化とベトナムの為にODAを始めとして努力していたつもりであったが、彼の話を聞いて、自分のやっていたことが如何にうわべだけの薄っぺらで楽なことであるかと恥ずかしくなったのを覚えている。しかし、今更自分は医者にも聖人にも成れず、自分に出来ることは服部医師の活動を可能な限り支援する

ことだと考えた。その後、ベトナムでの彼の活動範囲はハノイ、ダナン、ハイフォン等の大都市から名もないような地方にまで拡大し(彼の名声を聞きつけた各地から請われるまま、冷房のない、今にもタイヤが外れそうな長距離バスでの移動も少なくなかった。私は彼の活動の拠点になる各地の病院に「草の根無償援助」というODAで医療器材を供与したり、日本国内での淨財集めにささやかな協力をしてきた。

だ、の一言で済ませ何も協力しないのは日本人の矜持にとる。彼は網膜硝子体の内視鏡手術の日本の、いや恐らく世界の第一人者である。そもそも内視鏡手術をやれる眼科医は日本にも他の先進国にも数名しかいない由。眼の最深部の網膜での内視鏡手術のメリットは大きい。眼に0.9mmの内視鏡を差し込むこの術法は日本で生まれたものであるが、硝子体内部に力メツを入れるから見落とさない。筆者は3年前左目が網膜剥離になり、都内の眼科で有名な

術時の体の負担、手術時間、回復期等あらゆる面で服部医師がベストである。

日本にとどまり有名病院に勤務するか開業でもしていれば、多額の収入と名声を得たであろうに、妻を一人日本に残し、このような活動に彼を駆り立てるものは何か? 医者としての使命感もあるだろうが、何よりも人間に対する温かい気持ちではなからうか。あの貧しくて人間らしい治療も受けられず、みすみす失明していく人々を一旦見てしまった以上、何もせずにはいられない。我々も本来同じような人間愛、あるいはそれに類似したものを持っているに違いないが、あらゆる「欲」がそれを幾重にも覆ってしまっているのだから。

彼は年に数回、帰国し、日本各地の仲間のいる病院で手術をし、その金で旅費から手術用機材、医薬品を賄い、ベトナムでは一切の治療費も報酬も受けていない。あの時はマンション購入のための蓄えの数百万円を医療器材の購入に充てたこともあった由。ベトナムの医療現場は筆者も多くの病院を視察したが信じられないくらい劣悪で、医師、看護師も足りずレベルも低い。そのような環境でもう10年以上も無私の活動を続けている。このような日本人をただ立派

ったが、これがまたま内視鏡手術によるものであり、上手くいっただ(某大病院には内視鏡術者はいない)。

そして幸か不幸か、服部医師の実力を身を持って体験する機会が来てしまった。本年4月、今度は右目が網膜剥離になり、幸運にも服部医師が国内に居たので、ついに彼にやっってもらったことになった。つまり、筆者は3か所で人体実験をしたことになる。某有名大病院には二度と行きたくない。パリの医者も腕が良かったが、手

このような人間がいるということとはそれだけで「救い」だが、そのような自分たちには出来ない活動を何とか支援することにより、我々自身も又一つの「救い」に成りうるのではないか。本拙文を読まれた方は是非一人でも多く支援の輪に参加して頂きたい。彼の活動を支援する組織としてNPO法人「アジア失明予防の会」(<http://www.asia-assist.or.jp/>)がある。又、眼の難しい疾患にお悩みで、ぜひ彼の手術を受けたいという方がおられたら、筆者にご一報いただきたい。(はっとり・のりお)

OPINION